



ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES,
DAIDO CORPORATION HAS
STEADILY GROWN BY PROVIDING
SUPERIOR PRODUCTS AND SERVICE.

低臭タイプの環境にやさしいトップコート

SOFT TOP COAT AU

薄膜水性2液柔軟型アクリルウレタン樹脂系塗料 [弾性ウレタン塗床材、防水材の上塗塗料]

水系ソフトトップコートAU

水系ソフトトップコートAU 遮熱型

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

非TX

非鉛・クロム

文科省指定6非含有

厚労省指定13非含有

特化則対応品

SOFT TOP COAT

環境に優しい水性タイプのトップコート用アクリルウレタン樹脂系塗料です。

伸び率が高く、クラック追従性に優れていますので、弾性ウレタン塗床材、硬質ウレタン塗床材、ウレタン系塗膜防水材料、FRP型塗膜防水材料、塩ビシート防水材料のトップコートや、あるいはメンテナンスの為に塗り替え時のトップコートとして、優れた性能を発揮します。

特長

- 1 耐候性に優れ、黄変しにくく長期にわたり色あいを維持します。**
- 2 水系**ですから、**環境に優しい**だけでなく**安全性が高く、取り扱いが容易**です。
- ホルムアルデヒドの放散量が少なく、日本塗料工業会の認定を受けています。
FA放散等級 F☆☆☆☆(規制対象外)です。
日塗工登録番号 D01150 (遮熱型を除く)
- 4 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、鉛、クロムを含んでおりません。**
(特化則対応品)

用途

- ユカクリートソフトA、ユカクリートRIZE(ライス)の新築・改修用トップコート
- ウレタン塗膜防水の新築・改修用トップコート
- FRP防水、塩ビシート防水の改修用トップコート(塩ビシートの上に直接塗装可)[※]
- アスファルト舗装面のカラーリング(下塗りにユカクリート ミズユカプライマーを使用します)

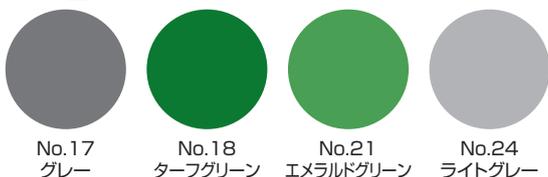
※ワックスが塗られている場合はワックス除去が必要です。

- アスファルト防水材料(砂付キルーフィング、ゴムアスシート等)には、下塗りにボースイテックス#5000シーラーを塗装して下さい。
- ゴム系シートには下塗りにユカクリート密着プライマーをお勧めしますが、トップコートが塗装されている場合も多く、その種類や状況によっては付着しないことがありますので、必ず試験施工を行い、付着性を確認して下さい。

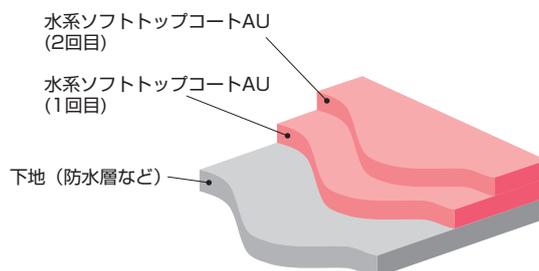
Colors

※色見本は印刷のため色調が異なります。 ※ユカクリート標準色見本帳をご参照下さい。 ※ご指定の色に調色することも可能です。

標準色



- [塗装方法] はけ、ローラー
- [標準塗付量] 0.12~0.15kg/m²/回
被塗物の形状、気候、希釈率、塗装方法等によって増減します。
- [希釈] 清水で5~10%
- [塗装間隔] 16時間以上3日以内(23℃)
- [危険物の区分] 主 剤 非危険物
硬化剤 指定可燃物
- [保管上の注意] 冷暗所で保管して下さい。ただし水性塗料ですので凍結しないよう0℃以上で保管して下さい。



遮熱型

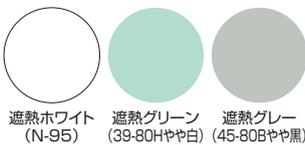
基本的な性能・性質は「水系ソフトトップコートAU」と同じですが、遮熱性を特別に付与したタイプです。JIS K5675(屋根用高日射反射率塗料)に適合します。

通常のタイプより塗膜の表面温度が

12~21℃ほど低くなります。(条件によって変動)

Colors

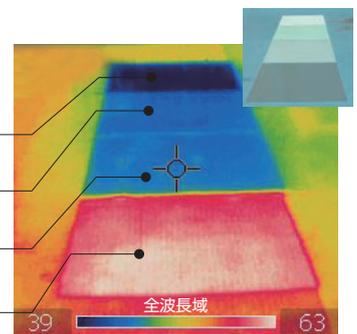
※色見本は印刷のため色調が異なります。



屋外用途のため
FA放散等級登録は
行なっていません。

遮熱型の遮熱性能

品名	日射反射率(%)		表面温度
	全波長域	近赤外域	
水系ソフトトップコートAU 遮熱型 遮熱ホワイト	84.1	82.8	39℃
水系ソフトトップコートAU 遮熱型 遮熱グリーン	64.2	80.1	48℃
水系ソフトトップコートAU 遮熱型 遮熱グレー	63.4	77.4	45℃
ポーシテックス トップコートAU No.17グレー	-	-	60℃



水系ソフトプライマー 水性2液柔軟型アクリルウレタン樹脂系塗料

特長

- 弾性下地への密着性に優れています。
- ホルムアルデヒドの放散量が少なく、日本塗料工業会の認定を受けています。FA放散等級 F☆☆☆☆(規制対象外)です。日塗工登録番号 D01248
- 環境対応型でトルエン、キシレン、エチルベンゼン、鉛、クロムを含みません。(特化則対応品)

用途

下地の吸いこみムラ防止など、プライマーが必要とされる場合に使用して下さい。

[注 意 事 項] コンクリート・モルタル面には使用出来ません。

[色] 白

[標準塗付量] 0.12~0.15kg/m²/回

被塗物の形状、気温、希釈率、塗装方法等によって増減します。

[希 釈] 清水で5~10%

[塗 装 間 隔] 16時間以上3日以内(23℃)

可使時間と硬化時間

単位:時間

品名		5℃	10℃	20℃	30℃
水系ソフトプライマー	可使時間	4	4	4	2*
	硬化時間	36	24	16	8
水系ソフトトップコートAU及び遮熱型	可使時間	4	4	4	2*
	硬化時間	36	24	16	8

*夏期の炎天下で塗装する場合、可使時間が短くなる場合があります。材料は直射日光が当たらない場所で保管し、攪拌後はすぐに使用して下さい。

容量と配合比

品名	配合比(質量)	容 量	塗装面積(m ² /1缶)
水系ソフトプライマー	主剤:硬化剤=5:1	15kgセット(12.5kg+2.5kg)	100~125/1回/15kgセット
		3kgセット(2.5kg+0.5kg)	20~25/1回/3kgセット
水系ソフトトップコートAU	主剤:硬化剤=5:1	15kgセット(12.5kg+2.5kg)	100~125/1回/15kgセット
		3kgセット(2.5kg+0.5kg)	20~25/1回/3kgセット
水系ソフトトップコートAU 遮熱型	主剤:硬化剤=5:1	15kgセット(12.5kg+2.5kg)	100~125/1回/15kgセット
		3kgセット(2.5kg+0.5kg)	20~25/1回/3kgセット

塗装仕様書

■既存防水層のトップコート塗替え(遮熱型と共通)[アスファルト系、ゴムシート系を除く]

工程	品名	内容	塗付量 (kg/m ²)	塗装間隔 (23℃)
下地	既存の防水層は漏水がなく、十分な強度と柔軟性を維持していることとします。※			
下地処理	高圧水洗を行い、それ以外の場合でも雑巾がけのように、念入りにゴミ、泥などの汚れを除去します。			
上塗 (2回)	水系ソフトトップコートAU (遮熱型)	水系ソフトトップコートAU(遮熱型)を主剤:硬化剤=5:1で混合し均一になるまで攪拌します。 清水で5~10%希釈して、はけ、ローラーで均一に塗装します。	0.12~0.15/回	16時間以上 3日以内

※既存トップコートが摩耗や剥離し、防水層が露出している場合は水系ソフトプライマーを塗装してください。

■弾性ウレタン樹脂系塗床のトップコート塗替え

工程	品名	内容	塗付量 (kg/m ²)	塗装間隔 (23℃)
下地	既存塗膜が弾性ウレタン樹脂系塗床で、付着性が良好であるものとします。			
下地処理	ワックスが塗付されていないかを確認し、ワックスがある場合はワックスリムーバーなどで除去します。 付着が弱い部分や、傷みがひどい部分をカッターやチップパーなどで除去します。 必ず全面をサンドペーパーがけにより目荒らしを行い、付着物を除去します。 油脂、グリース、タールなどはシンナーか洗剤で除去します。			
上塗 (2回)	水系ソフトトップコートAU	水系ソフトトップコートAUを主剤:硬化剤=5:1で混合し均一になるまで攪拌します。 清水で0~10%希釈して、はけ、ローラーで均一に塗装します。	0.12~0.15/回	16時間以上 3日以内

施工上の注意

- 主剤を開缶後、電動ミキサーで攪拌してから硬化剤を混合し、再度電動ミキサーで攪拌して下さい。
- 主剤に硬化剤を加えた後に放置するとゲル化しますので、すぐに攪拌して下さい。
- 缶に残った硬化剤は、ヘラ等でかき出して下さい。また、希釈水は主剤と硬化剤を十分に混合してから加えて下さい。
- 夜露の降りる恐れのある場合は、原則として午前中で塗装を終了して下さい。
- 少量を使用する場合は、主剤をよく攪拌してから、主剤、硬化剤を秤で量って使用して下さい。
- 他の水性塗料との混合は避けて下さい。
- プライマーが必要な場合は、各種下地(材)に適したプライマーを選定して下さい。
- 同一床面では休まず一気に仕上げて下さい。休むと色の差や段差ができることがあります。
- 溶剤系塗料と比較して塗装時から硬化中の色の変化が大きいため、塗装直後と乾燥後の発色にかなりの差がありますのでご注意下さい。
- 気下記のような場合は原則として塗装は避けて下さい。
 - 塗装後16時間以内に降雨の恐れのある時。
 - 強風下、塵埃などが付着する恐れのある時。
 - 5℃以下または、湿度80%以上の時。
 - 炎天下の場合など被塗物や気温が異常に高温の時。
- 気温35℃以上の炎天下で使用しますと30分程で皮張りしますのでご注意下さい。
- 塗料を炎天下又は高温下で保管しないで下さい。高温の状態で使用すると可使時間が極端に短くなり、すぐにゲル化します。
- 塗床材、防水材の施工後に上塗りする場合は、表面が汚れないうちに速やかにこの上塗塗料の施工をして下さい。
- 厚付けすると発泡、中膿み等の不具合の原因となりますので、たまりをつくらぬ様に塗装して下さい。
- ゴムシートへは試験塗装を行って、付着性を確認してから塗装して下さい。
- 小分けにする際、開缶し電動ミキサーでよく攪拌した後、取り分けて使用して下さい。
- 施工中は保護手袋を着用して下さい。塗料が皮膚に付着した場合は石鹸でよく洗って下さい。
- 施工中、養生期間中は換気を十分に行ってください。換気が不十分な場合には、乾燥が遅れたり、硬化不良を起す場合がありますので、場合によっては送風を行ってください。
- 塗付量は、下地の状況により増減しますので、ご注意下さい。



製品の規格及び仕様は改良等のため予告なく変更する場合があります。